

第一回 花園・島崎地区浸水対策施設技術検証委員会

会議概要

●日時 平成29年7月4日（火） 13:30～

●場所 熊本市上下水道局 3階 災害対策室

●出席委員 5名

楠田哲也（委員長）、大本照憲（副委員長）、皆川朋子、
横田敏宏、丸尾昭

●次第

1. 開会
2. 委嘱状交付
3. 上下水道事業管理者挨拶
4. 委員紹介
5. 委員長選任・副委員長選任
6. 議事
（報告）花園・島崎地区浸水対策施設の概要及び現状について
（審議）浸水被害の軽減に向けた今後の方針について
7. 閉会

●議事要旨

- ・原因の究明や対策の検討には、原因と推定される箇所の水位の確認が重要
- ・分水計算や損失計算など既往設計の内容を確認するとともに、既存水路の排水能力やゴミの実態など現地調査を行い、設計条件と現場に差異が生じていないか検証を行うこと
- ・既往設計内容確認、現地調査、水位観測等、各委員からの意見を踏まえ、事務局で情報を整理し、次回委員会で報告を行うこと

●その他主な意見

<情報の整理について>

- ・ポンプ稼動条件や水位等の重要な情報は全て提示し、実測値や推定値等は識別できるようにすること
- ・4台のポンプそれぞれの起動水位と停止水位について、平成27年時から平成28年時の変更点を整理し、図化すること
- ・分水ゲートの構造、分水施設部の小山田川の水路断面、水路底高などの詳細について提示すること
- ・流量配分の推定値について、実際の浸水深等から、その妥当性の検証を行うこと

<既往設計の内容について>

- ・分水施設部におけるゴミの影響やスクリーンの損失、伏せ越し部の上下流のヘッドロスをどの程度考慮していたのか確認すること
- ・分水の検討において、設計条件や越流公式など計算等に誤りがないか確認を行うこと

<現地確認調査について>

- ・分水開始地点、分水終了地点、中間点における小山田川及び、分水施設内部に水位計を設置し、横越流前後の水位観測を行うこと
- ・小山田川の構造（断面、勾配、仕上げ等）について、設計での流量計算と実態に差異が生じていないか確認すること
- ・スクリーンに詰まるゴミの性質について確認すること（比重等）